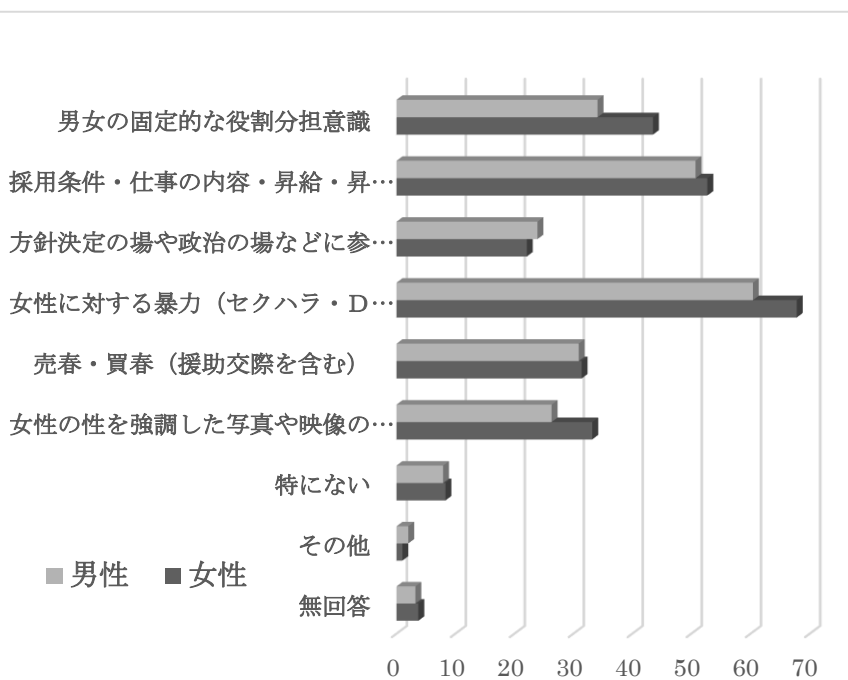


女性の人権

女性の人権で問題があると思うこと（複数回答）



「女はこうあるべき」
「男はこうあるべき」
と性による固定的な見
方をしていませんか？



多かったのは「女性に対する暴力（セクハラ・DV・ストーカー行為・痴漢行為・性犯罪など）」と回答した人が64.7%、「採用条件、仕事の内容、昇給・昇進における男女差による待遇の違い」と回答した人が51.8%、「男女の固定的な役割分担意識」と回答した人が39.4%でした。男女別では女性の方が「男女の固定的な役割分担意識」が9.4%、「女性に対する暴力」が7.4%、「女性の性を強調した写真や映像商品・広告」が6.9%多い傾向にありました。

「女らしさ、男らしさ」といった社会通念や慣習によってつくられた性別があります。このような社会的につくられた性別が性差別、性別による固定的な役割分担、偏見などにつながって人権を侵害する要因になることがあります。「男は仕事、女は家庭」「家事や育児、介護は女性がすること」と決め付けていませんか？

女性の人権問題
は、男性の問題で
もあるよなあ。



「女のくせに、男
のくせに」って言
われたら、いやだ
なあ。

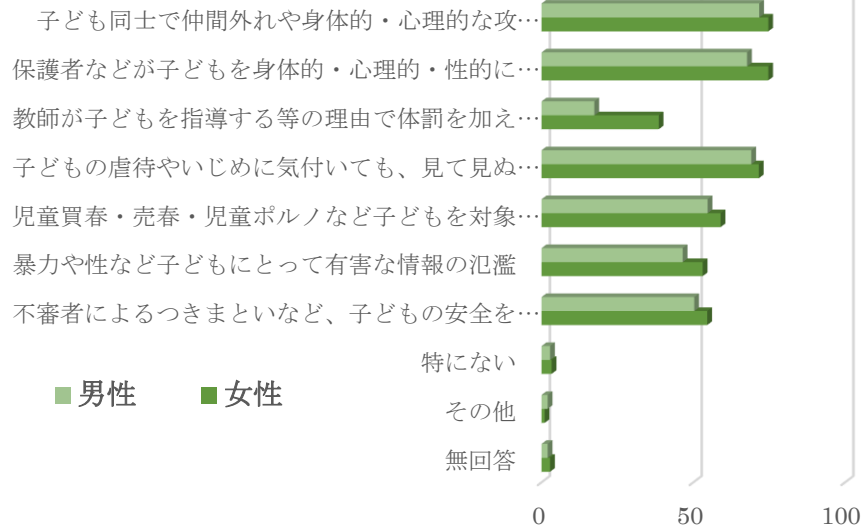
女性に対する暴力とは、女性に対して身体的、性的、心理的な傷や痛みを与える行為で、夫・パートナーからの暴力、性犯罪、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為などです。これらの行為は、女性の人権を著しく侵害するもので、許されるものではありません。

「男女共同参画社会」は女性も男性も対等なパートナーとして、性別を問わずその個性と能力を十分に発揮することができる社会です。お互いに人権を尊重するとともに、性別にとらわれず、個人として尊重される社会を実現するために、私たち一人ひとりが男女協同参画社会への理解を深め、行動していくことが大切です。

子どもの人権

子どもの人権で問題があると思うこと（複数回答）

子どもへの虐待やいじめが依然として後を絶たず、社会問題化しています。



多かったのは「子ども同士で仲間外れや身体的・心理的な攻撃、いじめを行うこと」と回答した人が73.1%、「保護者などが子どもを身体的、心理的、性的に虐待すること（放任や無視を含む）」が71.7%、「子どもの虐待やいじめに気付いても、見て見ぬふりをする」が70.6%でした。また男女別では「教師が子どもを指導する等の理由で体罰を加えること」が女性が11.2%多くの回答がありました。

子育ては地域全体で取り組まないとね。ぼくも出来ることから始めよう。



児童虐待は、子どもの基本的人権に対する重大な侵害であるだけでなく、その後の健やかな人格形成に深く影響を与えます。親が悩み家庭内の問題を自分だけで抱え込んで孤立することがないように、地域の人たちが悩みや問題を理解し、支えていくことが必要です。

うちの子も、相手のことを思いやる人になってほしいな。

いじめはどの子どもにも起こり得るものであり、それぞれが何らかの悩みや苦しみを抱えている可能性があります。子どものかすかなSOSをキャッチして、早期に発見し早期に対応していくことが重要です。



近年、少子化や核家族化の進行、地域の子育て機能の低下、情報化社会の進展などにより、子どもを取り巻く環境は大きく変化しています。こうした中で子どもたちが健やかに育つためには、一人ひとりをかけがえのない存在として受け止めることができる社会の仕組みをつくる必要があります。家庭や学校、地域などで、さまざまな大人とかわり合いながら、生きる力と豊かな心を身につけ成長できるように社会全体でささえることが大切です。